

PTA活動紹介		部門	安全
学校名	愛知県立半田特別支援学校桃花校舎	No	4
活動テーマ	保護者向けスマートフォン安心利用講演会		
開催日	平成27年10月7日		
場所	桃陵高校医学講義室		
時間	10時00分～12時00分		
参加者	保護者32名 内訳 1学年保護者 9名 2学年保護者11名 3学年保護者10名		
趣旨	携帯電話やスマートフォン(以下、「スマホ等」という。)が急速に普及し、子どもたちがインターネットを介した犯罪や被害に巻き込まれる事案が後を絶たない中、まずは、大人がスマホ等に対する知識や理解を深め、保護者としての責任をもつことを目的とする。		
活動ポイント	保護者が講演を聞き、実際にスマホを操作することでその機能を知り、家庭内での教育に生かす。		
主体委員会名・講師名等	愛知県の受託業者「縁(ゆかり)エキスパート株式会社」		
<p>「講演のポイント」</p> <p>◎スマホに潜む危険 (スマホによる体験) ネットトラブル パソコンで発生している問題は、スマホでも発生する。またSNSで知り合った人が悪意を持って近づき、犯罪に巻き込まれる可能性もある。</p> <p>①迷惑メール ②ワンクリック詐欺 ③高額請求 ④出会い系アプリ ⑤アダルトサイト</p> <p>事例 ①無料通話アプリでいじめ 仲間はずれ 悪口 無視 即返信のプレッシャー ○予防対策 無料通話アプリを快適に使うための方法を親子で一緒に考える。子どもと同じアプリを試しに試してみる。</p> <p>事例 ②プライバシーの侵害 個人情報ネットに流出 ○予防対策 家庭内での話し合い。プライバシー権や肖像権を尊重。本人の許可無く他人の写真や文章をネットにアップしない。</p> <p>事例 ③コミュニティサイトで悪ふざけ 炎上 高校生がバイト先で、冷蔵庫に入っている写真をツイッターに投稿、瞬く間に拡散し炎上。全国紙の新聞にも掲載され、サイトには本人の個人情報が載り、そのバイト先は閉店に追い込まれ、高額な損害賠償をするこ</p>			
<p>とになった。高校生は退学になり、軽い気持ちで行った行為はネット上に消えることなく残り、本人の人生において大きな代償を払うこととなった。</p> <p>○予防対策 未成年でも社会的責任を持っていることを認識させる。</p> <p>事例 ④著作権法違反・不正アプリ 無料ダウンロードサイトからほしい曲をダウンロードし、友達に紹介するつもりでインターネット上にアップロードしたところ、情報が拡散。著作権法違反でレコード会社やゲーム会社から警察に通報され検挙された。スマホの電話帳データにアクセスして個人情報抜き取る不正アプリをダウンロードしてしまい、架空請求の被害に遭うケースもある。</p> <p>○予防対策 ウイルス対策ソフトやセキュリティアプリを導入。</p> <p>事例 ⑤ゲームアプリで高額請求 クレジット決済で有料ゲームアプリを購入した。一度購入すれば後は無料と考えていたが、翌月思いもよらない高額請求を受けることになった。最初にカード登録をすれば以降はパスワードとID入力だけでアイテムを購入できる仕組みで、気づかないうちに多数の有料アイテムを購入してしまっていることに気づいた。</p> <p>○予防対策 子供が使うサービスにクレジットカードを登録しない。インストールは保護者が行う。</p> <p>事例 ⑥コミュニティサイトで性犯罪被害 ID交換掲示板で知り合った男性と無料通話アプリでのやりとりを始めた。楽しく会話をしていた中で不都合な事実を知らせたことで、急に「その事実を知らされたくなければ、裸の写真を送れ」と脅してきた。要求を聞いて送ったら直接会うように迫られ「裸の写真を送らなければならぬ」とエスカレートしていった。</p> <p>○予防対策 会ったこともない人を信用しない。怪しくないサイトにも危険は潜んでいる。</p> <p>◎子どもを守るための3つのポイント</p> <p>1 保護者自身が学ぶ ①スマホの利便性と危険性 ②インターネットを子どもの成長にあわせて適切に利用させる方法 ③スマホで機能と設定方法</p> <p>2 フィルタリングを利用 ①有害情報閲覧制限・ブロック機能 ②利用時間の制限・利用状況の確認 ③年齢や成長に合わせた設定可能 ④Wi-Fiにも対応</p> <p>3 家庭のルールを作る ①食事中や会話中にはしない。 ②風呂場でしない。 ③就寝時には家族が集まる場所で充電をする。 ④スマホで買い物はしない。 ⑤困ったら相談する。 ⑥人の嫌がることは書かない。</p>			
<p>講演会の様子</p> 			
メール送信先	info@aichikoupren.org		